いちき串木野市医師会
医師会立脳神経外科センター
広報誌

さくら

a joint undertaking
vol.38
令和5年1月13日発行

医療コラム
おしえて！ドクター

第4回
認知症患者さんを理解して、共に楽しく暮らすために Part2

医療法人静和会 みなと病院　福元 晋一郎先生

P 4・5

令和５年 新年のご挨拶 …… P 2・3
回復期セラピストマネジャーを取得して …… P 6・7
R 4年度　回復期フロアの取り組み紹介 …… P 8・9
地域医療を支える 医師会会員病院紹介 …… P10・11
みんなの掲示板 …… P12

2023年　卯年

令和５年

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます

いちき串木野市医師会を代表してご挨拶申し上げます。

もう3年にもなりますが、昨年も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。夏には第7波の感染爆発が起こり、県内の感染者数が1日５０００人に迫る日もありました。皆様も多くのご苦労をされたことと思います。

当医師会立脳神経外科センターにおいては、コロナ専用の病床を運用し、地域における感染症対策に貢献して参りました。引き続き新興感染症への対応も怠ることなく、本来の脳血管疾患の診断や治療の中心的役割を果たしていく所存です。

人事面では、長年にわたり院長としてセンターの運営に敏腕を振るわれた下鶴哲郎先生から石丸浩一先生へバトンが渡されました。

下鶴先生の貢献で特筆すべきは、当センターの経営的な改善です。現在の盤石な状態にあるのは先生の寄与するところがとても大きく、職員一同と共に本当によく頑張っていただきました。

新石丸院長は、当センターに通算では歴代最長期間にわたり勤務され、前下鶴院長と共にセンターの運営に中心的な役割を担っていただいております。地域の皆様もよくご存じだと思いますが、これからも当センターを強いリーダーシップをもって牽引してもらえると確信しております。

今後さらに深刻化する医師数の確保に向けても、鹿児島大学のご協力を頂きながら、会員と共に努力してまいります。

今年も医師会病院として、職員一同地域医療に貢献する所存ですのでどうぞよろしくお願いいたします。

皆様のご健勝と今年こそはコロナの終息を祈念いたします。

いちき串木野市医師会 会長　花牟禮 康生

医療コラム

おしえて！ドクター

第４回 認知症患者さんを理解して、共に楽しく暮らすために Part2

今回が最終回となりました。最後は、やはり、社会問題となっています、認知症患者さんとの接し方について、患者さんもご家族・介護者も幸せになるために、“第２回 教えてドクター”で紹介させていただいた内容の復習と、新しい内容を説明させて頂きます。

医療法人静和会 みなと病院　**福元 晋一郎** 先生

【Ⅰ】患者さん・家族・関係者にできる非薬物療法＆予防法

①散歩や体操を継続する。
② 栄養バランスの良い食事をする。
③外出する（『何を着ようか？』などと考えることで脳を刺激する）。
④一行でも良いので日記を書く（今日何をしたのかを考えることで脳を刺激する）。
⑤大切なことはメモする。
⑥アルバムを見る（昔行った場所、友人などを思い出すことで脳を刺激する）。
⑦おしゃべりをする（相手が何を言っているのかを注意して聞くことと、自分はどう返答すればいいのか考えることで脳を刺激する）。

【Ⅱ】介護者が疲労困憊しないコツ

①家族や介護者の都合を無理強いしない：本人が楽しく幸せな生活を送るには、どうすれば良いかを考えて、実践して下さい。例えば、散歩するのが好きな患者さんに、「今時間がないから、散歩に行けない」と言って無理に止めると、患者さんが興奮して怒り出してしまい、それに対し家族も興奮して喧嘩になり、家族も疲れます。さらに後になって『何で怒ってしまったのだろう』と、怒ってしまった自分を責めて落ち込むことが多いですので、家族～関係者が付き添って、一緒に散歩して下さい（ご家族の健康向上・認知症予防にもなります）。
②一人で悩みを抱えないで、誰かに相談する。
③介護を楽しむ（介護を趣味にする）。
④しっかり、ためらわずにストレス発散する。
⑤ユーモアと笑顔を忘れない。
⑥どうしようもなく辛い時は、人前でも恥ずかしがらずに、涙を出し尽くすくらい思い切り泣く。
⑦しっかりため息をついたり、人がいない場所で思い切り叫ぶことで、スッキリする。
⑧介護のプロ（ケアマネージャー）に何でも相談する。例えば、室内にポータブルトイレを置くのか？室内からトイレに行く間にどんな形の手すりを、どこに設置するのか？段差解消にはどうすれば良いのか？スロープを設置するべきなのか？などを、実際に、ご家庭に出向いて頂いて相談したうえで、アドバイスをもらってください。か、後でご家族が支払うのも一つの解決法です。

【Ⅲ】患者さんの具体的問題行動への対応法

⑴自宅内外を歩き回る（徘徊する）ことへの対応。

：歩き回ったり、散歩するのを無理に止めると、興奮・粗暴行為が出現しますので、ご家族～関係者が付き添って散歩して下さい。

⑵勝手に品物を店から持って帰るなどの行為への対応法。

①本人は盗んだとの、自覚がないです（悪気がない）し、さらに、持ち出したことを記憶していませんので、その場で商品を食べたり、お金を払わずに持ち帰ることがありますが、本人を叱責しても、迷惑行為防止効果は乏しいですので、「次からは、一緒に買い物に行きましょうね」と優しく、穏やかに話しかけて下さい。
②さらに、地域住民・関係者に認知症であることを理解して頂き （情報共有し）、見守り、保護に協力して頂いたり、店に事情を説明して、あらかじめお金を預けておく

⑶ 食行動異常への対応法

：甘い物を何度も食べるようになることがありますので、テーブル上や、手の届く場所に甘い食べ物を置かないようにして下さい。また、糖尿病発症の危険性もありますが、全く甘い物を食べさせないのも問題ですのでご家族が管理して食べさせて下さい。もし、患者さんが「もっと食べさせて」と訴える場合は、「もう少ししてから、おやつを出しますから、少し待っていて下さい」と説明して下さい。

さて、これまで、４回にわたりまして、精神科疾患について説明させて頂きました。患者さんもご家族も介護する方々も、皆が幸せになるためのヒントを説明させて頂きましたので、是非参考にして、実践して下さい。ご愛読ありがとうございました。

活躍している外部活動の紹介

回復期セラピストマネジャーを取得して

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
回復期セラピストマネージャー　作業療法士主任　大迫 洋介

いちき串木野市医師会立脳神経外科センターの回復期病棟リハビリテーション部門の管理をしております、作業療法士の大迫洋介と申します。

今回は【Ⅰ】回復期病棟の役割について、【Ⅱ】回復期セラピストマネジャーについて、【Ⅲ】今後の抱負について、述べさせて頂きます。

【Ⅰ】回復期病棟の役割について

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患または大腿骨頚部骨折などの病気で急性期を脱しても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者様に対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。入院患者様に対し、チームの各担当スタッフが入院後すぐ、寝たきりにならないよう、起きる、食べる、歩く、トイレへ行く、お風呂に入るなど（これらを「日常生活動作」（ADL）といいます）への積極的な働きかけで改善を図り、家庭復帰を支援していきます。

【Ⅱ】回復期セラピストマネジャーについて

回復期セラピストマネジャー（以下セラマネと略します）とは、一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会による認定資格です。協会が目指すセラマネとは、要約しますと、「病棟専従で理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のマネジメントを行いながら、多職種との協働を促進し、病棟運営に携わり、病院の理念・方針に結び付けられるセラピストの育成」です。今回、私は病院からのご支援を頂きこのセラマネのコースに参加させて頂き認定資格を取得することができました。

【Ⅲ】今後の抱負について

【Ⅰ】の項で述べました通り、回復期病棟では多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施します。患者様の回復を支援する上でこの「チームアプローチ」が最も重要と私は考えています。個々の能力が高くとも、同じゴールを目指せていなければ支援は上手くいきません。逆に同じゴールを目指した上で、それぞれの専門職としての役割を果たし、役割の重なり合う部分を補完し合ったり、強化できるチームは患者様の支援がスムースになり、ゴールへと最短距離で進むことができます。

当院の理念は、「地域住民が求める安全で信頼される医療を行う」です。当院スタッフは、この理念を基に入院中のリハビリはもちろんのこと、ご自宅への訪問を行った上で退院後の生活を最大限イメージし、担当の患者様が望まれる生活・やりたいこと・ご家族から求められていることを実現するために日々奮闘しております。手前味噌ではありますが、患者様・ご家族のために精一杯仕事をしてくれているスタッフを支援し、ゴールへと最短距離で進むためのチームアプローチができるよう、さらなる成長を期待し育成することがセラマネを取得した私の使命と考え行動しています。

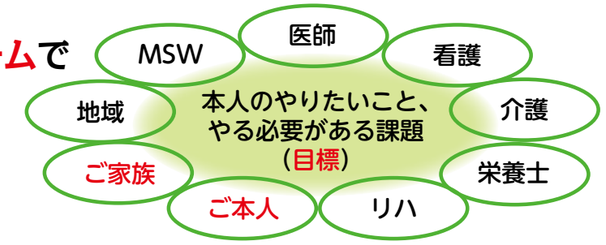
【最後に】

当院回復期では、従来から行っている在宅生活を見据えた退院支援と、通所・訪問リハビリへの引き継ぎに加え、手足の麻痺の強力な治療法である促通反復療法を鹿児島大学の名誉教授であられます川平教授をはじめとする大学の講師の先生方にご教授頂き、日々研鑽しております。また、脳卒中後の自動車運転再開支援として、串木野自動車教習所と連携し、シュミレーターや実車を交えた講習も開始しております。リハビリと種々の支援の質を向上させ、当院に入院された患者様が安心・安全に入院生活を送り在宅復帰できるようこれからも精進して参ります。

R４年度　回復期フロアの取り組み紹介

フロア目標

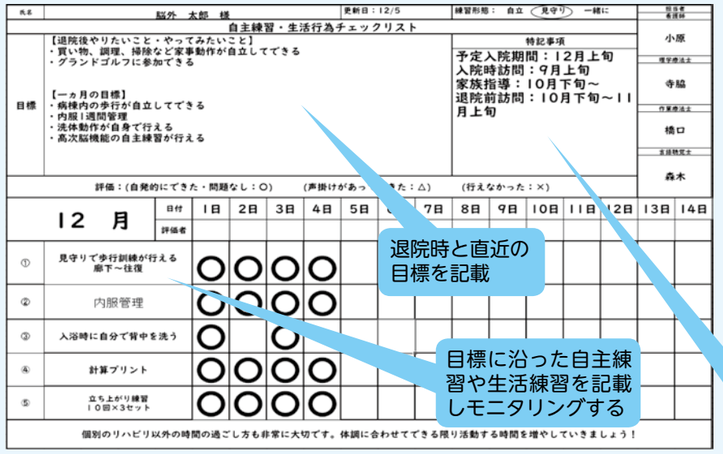
「**患者・家族を含めたチーム**で
チャレンジングに
目標達成を目指す」



２つのアクションプランの柱

①「退院支援」

目標や退院支援イベントの共有



退院時の目標や、当月の目標を可視化し患者様と目標を常に共有できる環境を作っています。

また、ご自宅への訪問調査や外出練習などの日程、退院予定月なども共有しながら支援を進めています。

自主練習風景

上記の目標達成に必要な練習や、生活課題を自主的に行ったり、病棟看護師と一緒に行っています。

個別のリハビリ介入以外の時間を如何に有効に過ごして頂くかが重要と考えています。

②「イベントや日中の活動量増加に向けた取り組み」

ころばん体操（いちき串木野市で取り組んでいる介護予防体操）

入院前から地域で参加されていた方から、初めて参加される方まで、「やってみたい」と希望がある方を中心に実施しています。童謡に合わせ、動かしやすい方の手足で行います。

イベントの開催（クリスマス会）

今年は一度しかイベントを実施することができませんでしたが、飾り作りからケーキ作りまで、患者様も一緒に準備を行い、本番当日も楽しんで頂きました。漫然としてしまう病棟生活ですが、イベントがあると普段みれない顔や意外な特技がわかったりと、大いに盛り上がりました。

ベランダの緑化（花壇の作成、野菜や花の栽培、憩いの場の提供）

ベランダスペースを活用し、リハビリ以外の時間も、患者様へ活動場面や役割を提供しています。

また患者様同士でのコミュニケーションを広げる空間としてもご利用して頂くことが狙いです。

いいねシートのプレゼント（一人の職員を全員で労う）

スタッフ同士の交流を深める一助として、回復期病棟に従事するスタッフにて、誕生日に一人に対し全員からのお祝いコメントや日頃の感謝を伝えるシートを作成しプレゼントしています。

地域医療を支える

医師会会員病院紹介

地域医療機関との相互連携を一層密に、医療を必要とする患者さんのニーズに応え、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指しています。

医療法人星海会

牧野医院

◆ 内科

院長名 ／ 牧野　虎彦
住　所 ／ いちき串木野市羽島 3554
電　話 ／ 0996-35-0017
診療時間 ／【月・火・金】
午前 9：00～12：30
午後 14：00～18：00
【木】
午前 9：00～12：30
午後 16：00～18：00
【土】
午前 9：00～12：30
午後 14：00～17：00
休診日 ／ 水曜、日曜、祝日

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午　前	○	○	×	○	○	○	×
午　後	○	○	×	16時から18時まで	○	14時から17時まで	×

当院は、串木野市街地から西へ 8 km。薩摩藩英国留学生渡欧の地、羽島にあります。昭和 28 年、先代牧野一虎が開院。わたくしが継承し 25 年が過ぎました。羽島・土川地区も人口が激減し、羽島小学校も 48 名。いかにして若い人の定住を進めていくか、いろいろな取り組みを行っております。2014 年 7 月に薩摩藩英国留学生記念館も開館し、江戸時代にロシアへ漂流し、露和辞典を編纂した、コンザの出身地の可能性もあり、羽島崎にゴンザ神社も建立しました。地域活性化に一役買っております。牧野医院も、父が培ってきた、地域の方々との触れ合いを大切にし、患者の目線に立った医療を提供してまいります。無床クリニックで、設備も不十分ですが、これからも地域のかかりつけ医として、いちき串木野医師会の先生方と連携し、地域住民の健康管理を行っていきたいと考えております。

医療法人

藤井クリニック

◆ 泌尿器科・皮膚科

院長名 ／ 藤井　公也
住　所 ／ いちき串木野市春日町 106 番地 1
電　話 ／ 0996-32-8000
診療時間 ／【月・火・水・金】
午前 9：00～12：00
午後 14：00～18：00
【木】
午前 9：00～12：00　午後休診
【土】
午前 9：00～12：00
午後 14：00～16：00
休診日 ／ 日曜、祝日

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午　前	○	○	○	○	○	○	×
午　後	○	○	○	×	○	16時まで	×

診療内容

○泌尿器及び性器・副性器などの検査、治療
○腎臓・尿管・膀胱・尿道・精巣（睾丸）・精巣上体（副睾丸）・前立腺肥大症・前立腺癌や泌尿器先天異常など
○一般皮膚科の検査、治療
○人工透析

まだマグロ漁の盛んな頃の、昭和 54 年に砂浜と海と夕日がほんとにきれいなこの串木野の春日町に開院しました。初めは泌尿器科がどこを、何を診察するのか分かってもらえない時もありました。串木野は現在人口減少傾向ですが、活気あふれる街のためにも、泌尿器科、皮膚科の診療を通して医師会の先生方と協力してこの地域の医療に寄与したいと思っています。

医療法人聖愛会

春田クリニック

◆ 内科・リハビリテーション科・整形外科
糖尿病内分泌内科・心療内科

理事長名 ／ 春田　いづみ
住　所 ／ いちき串木野市春日町 116
電　話 ／ 0996-33-2882
診療時間 ／【月・火・水・金・土】
午前 9：00～13：00
午後 14：00～18：00
【木】
午前 9：00～13：00
休診日 ／ 日曜・祝日・木曜午後
※その他手術などで変更する場合があります

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午　前	○	○	○	○	○	○	×
午　後	○	○	○	×	○	○	×

当院は、開設以来、常に最新の医療技術の研鑽と設備の充実を通し、患者さんの一日も早いご回復を願い努力してまいりました。
現在は、内科を中心に糖尿病、脂質異常症、高血圧症、肥満症などの生活習慣病の治療を行っています。
胃カメラ、大腸カメラ、腹部エコー、CT、MRI、骨密度、動脈硬化の検査など各種検査を行っています。リハビリテーションにも力を入れており、各種治療器具を備え、理学・作業療法士とともに、症状緩和や ADL の改善を目標に積極的なリハビリに取り組んでいます。
介護保険での通所リハビリテーションも行っており、在宅で元気に過ごすためのサポートをしています。これからも地域医療の発展に尽力していきたいと思っておりますので、お気軽にご相談ください。

医療法人金斉会

ふくもと整形外科・内科クリニック

◆ 整形外科・内科・
リハビリテーション科・リウマチ科

院　長 ／ 福元　隆史
副院長 ／ 福元　まゆみ
住　所 ／ いちき串木野市春日町 8
電　話 ／ 0996-32-4145
診療時間 ／【月・火・水・金】
午前 9：00～12：00
午後 14：00～18：00
【木】
午前 9：00～13：00
【土】
午前 9：00～12：00
午後 14：00～16：00
休診日 ／ 日曜、祝日、木曜午後

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午　前	○	○	○	○	○	○	×
午　後	○	○	○	×	○	○	×

当クリニックは昭和 33 年 8 月に福元医院として串木野の地に誕生しました。平成 16 年 9 月に『ふくもと整形外科・内科クリニック』と改称し、整形外科と内科を医師 2 名で診察していますが、患者さまが待合室で『フクモトビョウイン』と言われているのを耳にすると院名長すぎたかな？ビョウインじゃないけどなと苦笑します。これまで半世紀以上にわたり微力ながら地域医療の一翼を担って来れたことに周りの人々に感謝し尚一層邁進していきたいと考えます。
また、医療と併せて介護を必要とされる高齢者の在宅生活の支援をするために、通所リハビリテーションと短期入所療養介護で利用者様やそのご家族の支援をしています。
『私達は患者さまに、満足度の高い医療サービスを
誠意と笑顔をもってお届け致します。』
をモットーに職員一同頑張ってまいります。

公益社団法人　いちき串木野市医師会
いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
鹿児島県いちき串木野市桜町38番地
鹿児島県いちき串木野市生福5391番地3
TEL 0996-32-7955　http://kushikino-da.jp
TEL 0996-32-9999　http://www.kunc99.jp

みんなの掲示板

肉団子と白菜の中華煮込み

今が旬の白菜は、外側の葉は免疫力を高め、風邪の予防や疲労回復に役立つ「ビタミンC」が多く含まれています。ビタミンCは熱に弱いので軽く塩もみして浅漬けやサラダなど加熱しない料理法がおすすめです。

中心部の白い部分はミネラル類が多く、特に塩分の排泄作用がある「カリウム」が豊富で高血圧予防に効果があります。

白菜は収穫されてからも生長する野菜です。中心部にある芯の部分「生長点」に、外側の葉の養分をどんどん送り続けて大きくなるため、外側から食べていると栄養も旨味も抜けた部分を食べることになります。丸ごとの白菜は半分に切って、まず中心部分の葉をくりぬいて使いましょう。カットされた白菜を購入する際は中心部分が平な物が鮮度・栄養・味が保たれています。

肉団子と白菜の中華煮込み（材料 /2 人分）

（エネルギー 230kcal 食塩相当量 1.3 g）

白菜…… 200 g（一口大のそぎ切り）
干ししいたけ…… 2 枚（水 200ml でもどし、そぎ切り）
緑豆春雨……15 g（乾燥のまま使用）
赤パプリカ……20 g

肉団子 A
- 豚ミンチ … 100 g
- 深ネギ …… 30 g（長さ 10cm をあら刻み）
- しょうが …… 5 g（みじん切りで小さじ１）
- （塩少々　料理酒 小さじ１　片栗粉 小さじ１　卵は溶いて大さじ１）

調味料 B
- 中華だし（顆粒タイプ 小さじ１を湯大さじ２で溶く）
- 濃口しょうゆ 小さじ１
- 砂糖 …… 小さじ 1/2

水溶き片栗粉（片栗粉 小さじ 1/2　水 小さじ１）
ごま油 …… 小さじ 1/3

① Aを粘り気が出るまでよく混ぜる。2 個または 4 個に丸める。
② 22cm 位のフライパンに油小さじ１を入れて肉団子を焼いて取り出す。
③ 同じフライパンで干ししいたけ、白菜をさっと炒め、肉団子・しいたけのもどし汁・調味料 B を加えてフタをして中火で 5 分煮る。
④ 具材を片側によせて春雨と赤パプリカを加えて、2 ～ 3 分煮る。
⑤ 水溶き片栗粉でトロミをつけ、ごま油を入れる。

ホームページリンク先

公益社団法人
いちき串木野市医師会

いちき串木野市医師会立
脳神経外科センター

ご意見・ご要望等ございましたら脳外科センター広報チーム宛までお願いします。